

# 手塚治虫作品集その13 『上を下へのジレット』

2009/10/08 更新

この作品も大人向け漫画の一つで、『人間どもよ集まれ!』が天下太平という男性主人公であったのに対し、この作品は竹中プロのフクメン歌手で芸名晴海なぎさこと、門前プロ新芸名小百合チエという女性歌手、本名越後君子を主人公にした作品である。

田舎から上京した彼女は、ひもじい状況下におかれると絶世の美女に変身する特殊技能の持ち主であり、歌唱力は人一倍優れていることから専属プロモーション所属の歌手なのである。

ただ、不断の彼女は似ても似つかない醜い容貌なのだ。これが食糧不足でできない絶体絶命に近いひもじさに対応すると忽ち変貌しているのだから不思議だ。このことを知った芸能プロ社長門前市郎は即座に彼女と契約書「ひとつ小百合チエとは越後君子が飢餓状態においてのみ生ずる肉体諸条件にナンヤラカンヤラ」を作成する。この交わした契約書を盾にして、ありとあらゆる施策を考案しながら、門前プロ設立披露会を皮切りにして芸能界に彼女を使つて君臨しようとする。

そして、彼女には同郷の売れないマンガ家山辺音彦「オンちゃん」「キミちゃん」と呼び合う恋人がいる。二人は将来を誓い合う仲であったが、彼女の特殊な才能を逆手にとつて、全世界に「デヴィエー」させるプロモウター門前市郎に翻弄され、工事現場で生き埋めにされてしまうのだ。だが此男もただ者ではなかった。そして、彼女自身も操られながらも、その本質である人間性を失わせない一本筋の通った純真さの方向性を描き出した作品なのである。

そのなかでの筆画タッチも大人漫画風に近づけ表現していく。



「トコロテンの歌」十一万枚

「ミソラーメンの歌」七万枚

「五色豆ソング」五万枚

という歌唱力は評価されているのだが……。



あと一曲  
歌ったらホント  
に死んじゃうわ

門前市郎は、「奇蹟だ」という。



私ですッ  
てば!  
私おなが  
へると  
ちよつとばかり  
人相が変わる  
んです!



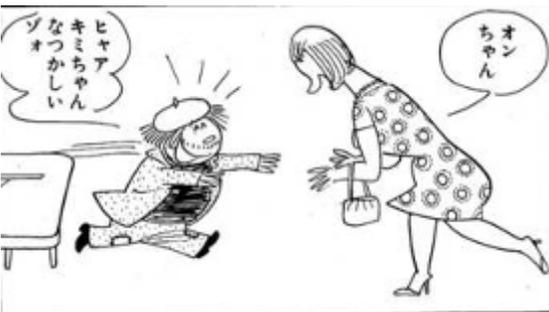
セックスのあと  
女が一番美しく  
なると思ったら  
があるが……  
この子は空腹で  
死にそうとき  
一番美しくなるんだ!

その手始めに、「小百合チエ」のニセ履歴書を作成する。作成者は契約愛人である間リエ。



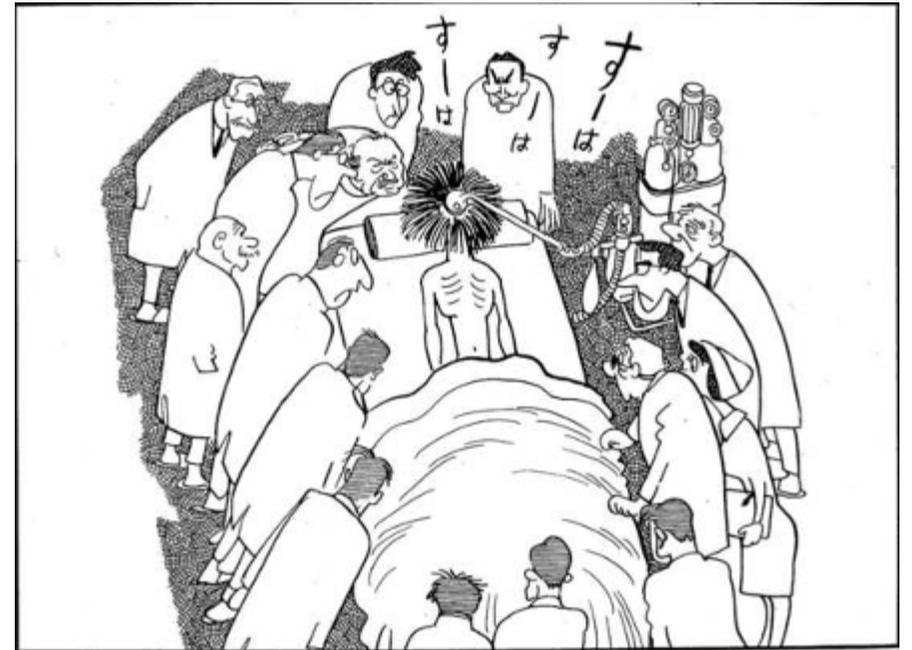
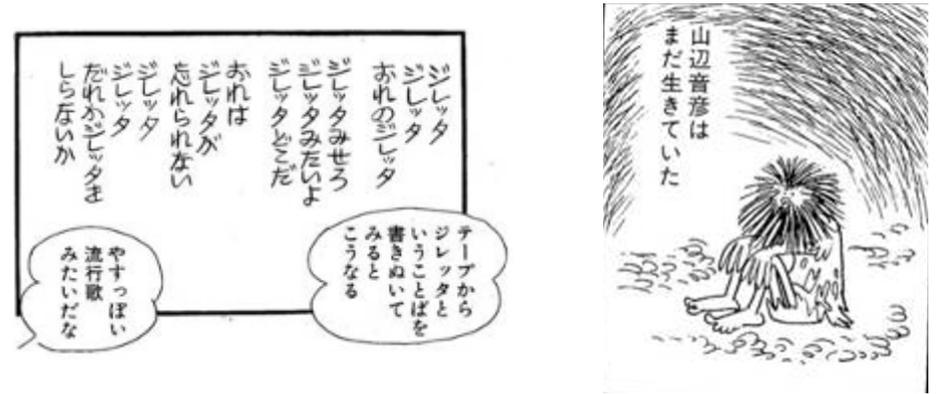
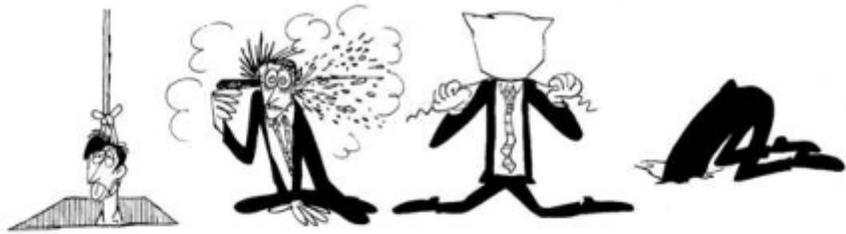
一九〇〇年 新潟に生る  
 華花高校 卒  
 宇輪木女子短大 卒  
 ミス北陸コンテスト 一位  
 英文学を エリザベス・カーペンター博士に習う  
 趣味 文学 クラシック ジャズ 美術 映画 生花 茶道 デザイン 他

門前市郎にとって最も厄介な男となる売れないマンガ家山辺音彦が登場してくる。



変身する一人の女性。この上圖の女性の姿しか知らない恋人山根なのだ。





大人マンガの筆法

門前市郎の心裡を巧に描き出す。彼は途方もなくくらいに落ち込み、様々な自分をここで想定する。これを手塚治虫は十二画像を以て美事にここに描き出して見せてくれたのである。この絵を見てこの前後のストウリーを全く知らない読者たちは、彼が何故このような妄想のなかにいるのかを推理する楽しみをこの一枚の絵は味合わせてくれているのである。さあ！どんな物語をあなたは想像されたであろうか？……。

この一枚の絵の物語を次に書き綴ってみようではないか。ヒントはこの絵だ。



「有木足」という人物



彼は一体何者なのだろうか？  
ご自身で解説してみよう。



竹中プロの女社長と専務とがジレ  
ッタの機器にかかってこんな状況  
となったことを見せしめにしてい  
るところである。ここでも手書き  
文字が有効的に使われ、縦書きに  
標示されている。これを読んで見  
よう！

○このふたりは、歌手にしたて  
てやるといってシロウトの娘をマ  
ンションにつれ込みイタズラしま  
した。

と書かれている。このなかで「し  
たててやる」ということば表現は  
この頃云わない言い回しである。  
これを現代風に言い換えるのであ  
ればどのようなことば表現が最も  
相応しいかを考えて見よう。



「逃げた魚は大きい」↓「海老で鯛を釣る」  
 手に入れそこねた物は、惜しさが加わって、実際よりよく思われる。釣り師は、実際に釣り竿の感触で、その魚の大きさを推測します。この魚が大物であればあるほどその感触も脳裏にしみ込んでいきます。釣り逃がした魚の感触を忘れられないように、自分が手にし損ねた物はいつまでも忘れられないのです。  
 鯛は日本では魚の王様という。その鯛を釣るのに餌が海老?...、海老と云っても「伊勢海老」?...、イヤイヤ何となんと「サイマキ」という「車海老」の中くらいなものを用いられるのです。このことわざは、価値が低く小さなもので、高価なブランドものを手に入れること。同義で「雑魚」「蝦蛄」が用いられています。



「知らぬ顔の半兵衛を決め込む」  
 そしらぬふりをして少しも取り合わないこと。また、その人。しらんかおの半兵衛。  
 \*滑稽本・小野篁謙字尽(二八〇六)平生よくいふ詞「しらぬ顔の半兵衛」  
 \*滑稽本・四十八癖(二八一二〜一八)初「おいらア未だにしらぬかほの反兵衛さ」  
 \*浮雲(二八八七〜八九)〈二葉亭四迷〉一・三「アラ鶯が飛でますヨ」と  
 「知らぬ顔の半兵衛模擬」 \*断腸亭日乗(永井荷風)昭和一五年(一九四〇)一月七日「彼がコンミツシヨンの請求を公言するまで知らぬ顔の半兵衛である事に

決心したり」

「将を射んと欲すれば先ず馬を射よ」

敵を屈服させ、また人をわが意に従わせようとするならば、まずその頼みにしているものから攻め落とすのが成功の早道である。「人を射んと欲する者は先ず馬を射よ」とも云う。  
 \*社会百面相(一九〇二)〈内田魯庵〉犬物語「人を射んと欲する者は先ず馬を射よ」 \*杜甫・前出塞詩「射人先射馬、擒敵先擒王」

まとめ



この作品は、『人間どもよ集まれ!』の後に連載した作品であった。だが、後の作品であるこの絵のタッチは遙かに上出来なのだが、この一人の女性が食を摂る摂らないで斯くも変容するこの物語は、もう一つ「上を下への大騒ぎ」となるシレッタという世界をここに置いたのである。その中心的人物も彼女の恋人であるという設定であると同時に、最後はライン川で溺死してしまうのだ。この上記の醫師が語る伝説でヒロインはこの世を去ってしまう。この後に残された男の成す行動とは……。厭に重たい破壊的な世界であったのだ。

